



理学療法学科



看護医療学科



健康栄養学科

やさしさを「チカラ」に変える。

Kio 畿央大学
KIO UNIVERSITY

2023 入試攻略ガイド

◀ ポイントをおさえて合格をつかもう ▶



人間環境デザイン学科



現代教育学科



畿央大学 入試のポイント

公募推薦選抜

「英語」「国語(現代文のみ)」「数学I・A」から、試験日当日に2科目を選択します。
学習成績の状況による出願基準はなく、他大学との併願が可能です(専願制ではありません)。

個性を発揮できる3つの合否判定方式

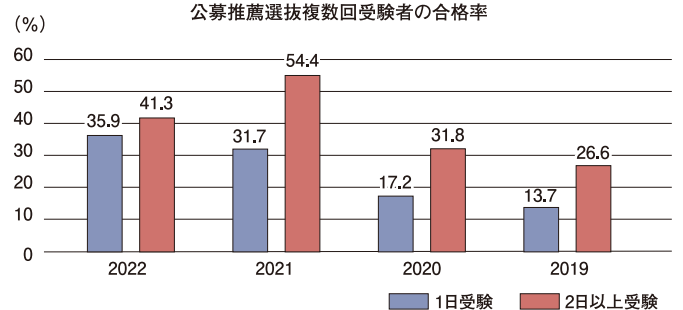
A方式の出願が必須ですが、学習成績の状況に自信のない人や得意科目のある人は「S方式」を、学習成績の状況に自信のある人や高校での活動実績がある人は「特色方式」を追加出願することで、合格のチャンスが広がります。

A方式 (調査書プラス)	S方式 (得意科目重視)	特色方式 (調査書&活動評価プラス)
基礎学力テスト 100点 + 100点 + 調査書 50点 学習成績の状況×10 = 250点満点	基礎学力テスト 200点 (高得点科目) + 100点 = 300点満点	基礎学力テスト 100点 + 100点 + 調査書 70点 学習成績の状況×14 + 活動評価※ 30点 = 300点満点

※活動評価の詳細は募集要項などをご確認ください。

注目! 複数日程受験でチャンス拡大!

複数日程受験生の得点は、日によってバラツキが見られます。一般選抜に比べ時期の早い公募推薦選抜では、その傾向が強くなります。結果として公募推薦選抜では複数日程受験生と1日受験生の合格率の差が大きくなっています。



一般選抜前期日程

3科目型と2科目型があり、得意科目のみで受験することが可能です。
多様な入試科目・方式によって、自分の個性を存分に発揮できます。

試験科目 英語 | 国語(現代文のみ) | 数学I・A | 物理 | 化学 | 生物 | 基礎理科 | 日本史B | 世界史B

※志望学科により選択できる科目は異なります。
詳細は募集要項をご確認ください。

多彩な6つの合否判定方式

3科目型で受験する場合に出願できる方式 1日(1回)の試験で最大6回合否判定を受けることができます(3方式以上検定料同額)

いずれか必須	3科目型A方式(均等配点) 英語 100点 + 選択科目① 100点 + 選択科目② 100点 = 300点満点 受験した3科目の得点を合計して300点満点で判定します。
	3科目型S方式(得意科目重視) 高得点科目 200点 + 他の科目① 100点 + 他の科目② 100点 = 400点満点 受験した3科目のうち、高得点1科目の得点を2倍にして400点満点で判定します。※英語必須
	3科目型T方式(調査書プラス) 調査書 50点 + 英語 100点 + 選択科目① 100点 + 選択科目② 100点 = 350点満点 受験した3科目の得点と調査書(学習成績の状況×10)との合計350点満点で判定します。
	2科目型A方式(均等配点) 高得点科目① 100点 + 高得点科目② 100点 = 200点満点 受験した3科目のうち、高得点2科目の得点を合計して200点満点で判定します。
	2科目型S方式(得意科目重視) 最高得点科目 200点 + 次の高得点科目 100点 = 300点満点 受験した3科目のうち、最高得点科目の得点を2倍にし、次に得点の高かった1科目との合計300点満点で判定します。
	2科目型T方式(調査書プラス) 調査書 50点 + 高得点科目① 100点 + 高得点科目② 100点 = 250点満点 受験した3科目のうち、高得点2科目の得点と調査書(学習成績の状況×10)との合計250点満点で判定します。

2科目型で受験する場合に出願できる方式 1日(1回)の試験で最大3回合否判定を受けることができます

2科目型A方式(均等配点) 選択科目① 100点 + 選択科目② 100点 = 200点満点 受験した2科目の得点を合計して200点満点で判定します。
2科目型S方式(得意科目重視) 高得点科目 200点 + 他の科目 100点 = 300点満点 受験した2科目のうち、高得点科目の得点を2倍にして300点満点で判定します。
2科目型T方式(調査書プラス) 調査書 50点 + 選択科目① 100点 + 選択科目② 100点 = 250点満点 受験した2科目と調査書(学習成績の状況×10)との合計250点満点で判定します。

出題傾向

基礎学力重視の方針がうかがわれますので、しっかり基礎を固めておきましょう。多種多様の問いが少しずつ出題されますが、難問・奇問は見られません。

文法・語彙、会話文、整序英作文、長文読解などにおいて、様々な出題形式に慣れておく必要があります。

また、インターネット上の文章をはじめ、広告や案内状、取扱説明書、契約書など、日頃から「生きた英語」や「実用的な英語」に触れておくことが重要。

そこでは特に速読即解力が求められます。一方、従来のオーソドックスな長文読解問題では、論説文や随筆の文脈・論旨を正確に把握する力が何よりも重視されます。

精読と多読によって確かな読解力を身につけておきましょう。

出題分野

実用的で「生きた」英語に慣れておこう！

読解 58%

文法・語彙 29%

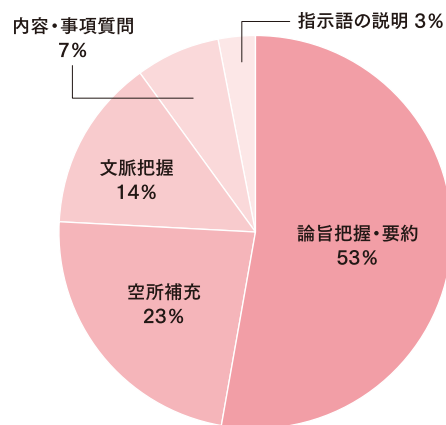
英作文 13%

文法・語彙問題では、例えば the mountains surrounding around the lake の誤りに気づけるか否かを試す問いに注目（公募推薦選抜）。surround は他動詞なので around は不要となります。短文の中で文法や語句の「間違いを含むもの」を選ばせるというこの出題は、公募推薦・一般の両選抜にあり、基本的ですがきめ細かな知識が必要。また、会話文は、会話の流れを正しく読み取り、空所補充などで解答する形となっています。次に整序英作文ですが、例えば Was it Chris that came here last night? (一般選抜) という英文を完成させる程度の力が必要で、基礎学力が不足していると苦戦を強いられるかもしれません。なお、公募推薦選抜でも一般選抜でも、インターネット情報に模した英文が取り上げられる可能性が大！他にも広告や案内状、取扱説明書、契約書など実用的な英文に接することで今後の対策を進めましょう。長文読解問題に向けては、主に論説文や随筆に力を入れておくことがオススメです。

出題形式

基礎学力重視でも、設問パターンは多種多様

全問がマークシート方式ですが、設問パターンが多様です。公募推薦選抜では、**大問1** が文法・語彙、会話文、整序英作文など、**大問2** がインターネット上の情報に模した英文の読解、**大問3** が標準的な長文読解問題です。一方、一般選抜では、**大問1** が文法・語彙、会話文など、**大問2** が整序英作文、**大問3** がインターネット情報に模した英文読解、**大問4** が標準的な長文読解問題となっています。様々な形式の設問に慣れる必要があるほか、長文読解問題対策として文脈・論旨を正確に把握する学習にもしっかり意識を高めましょう。問題演習の繰り返しも有効な学習法のひとつです。



英語の攻略法

問題練習の繰り返しを！

広告や案内状などの英語表現に慣れておこう！

短時間で多様な設問に答えていく必要があるので、問題練習の繰り返しが大切。会話文はもちろん、広告や案内状、またはインターネット上の情報など、日頃から実用的な英文に接しておくことが有効です。文法・語彙問題は、基本的ですがきめ細かな知識が求められるので、丁寧な学習を心掛けましょう。

精読と多読で確かな読解力を身につけよう！

文脈や論旨の把握を意識すべし！

一般に実用的な英語が重視される傾向ですが、長文読解問題への対策も忘れないように！日頃の学習では、一つひとつの文の構造や意味を完璧に理解しましょう。何より重要なのが、文脈や文章全体の論旨を正確に把握すること。この点を意識しながら、精読と多読でしっかりした読解力を培っておきましょう。

数学

出題分野

2次関数、図形と計量を中心に幅広く出題。
数学の本質を問う出題もあり！

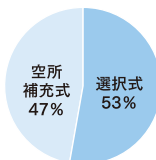


公募推薦選抜、一般選抜ともに数学I・Aが出題範囲で、2次関数、図形と計量、場合の数と確率を中心に出題範囲の全単元から出題されています。公募推薦選抜は小問集合を含む3大問構成、一般選抜は小問集合を含む4大問構成です。手のつけられない難問は見られないものの、2次関数や図形問題などで数学の本質を問うといった、思考力の必要な問題も出題されました。まずは教科書の傍用問題集などで基礎知識をマスターしたうえで、初出の問題に対応できる力をしっかり磨いておきましょう。

出題形式

全問マークシート方式。
選択式と空所補充が融合した問題も！

公募推薦選抜、一般選抜ともに全問マークシート方式。選択肢の中から答えを選ぶ選択式と、空所に当てはまる答えの数字や符号をマークする空所補充の両方が出題されました。どちらの形式も答えの正誤だけで得点が決まるため、正確に計算する力は不可欠です。また、解答の一部を選択肢から選ぶ問題（選択式と空所補充の融合問題）が出題されるケースも。丁寧な計算によってミスを防ぐことはもちろん、問題をしっかり解読して正しい答えをマークできるように、過去問題などで形式演習を重ねておきましょう。



※空所補充式は、
答えの数字や符号を
マークする形式です

数学の攻略法

教科書や傍用問題集の類題まで解ける
確実な基礎力を身につけよう！

まずは定理や公式を活用し、教科書の章末問題や傍用問題集が難なく解けるようになるまで繰り返し学習すること。そのうえで大学入学共通テストや同学の過去問題などに取り組み、思考力の必要な問題や初出の問題に対応できる力を身につけておきましょう。

計算ミスを把握し、
正確に早く解く計算力を！

マークシート方式は早く正確に解く計算力が必要です。まずは計算問題を数多く解き、自分が間違いやすい箇所を把握しておくこと。その習慣がミスの予防につながります。また、マークミスをしないように、マークシート方式の解答にも慣れておきましょう。

国語

出題分野

知識設問、評論文読解設問、小説読解設問が、
バランスよく出題される！

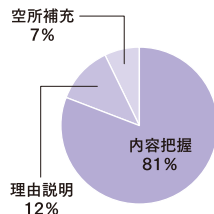


公募推薦選抜、一般選抜ともに、例年3大問構成。**大問1**は漢字・慣用表現・四字熟語・文学史などからなる知識大問、**大問2**は評論文読解、**大問3**は小説読解が出題されます。**大問2**の評論では、複数の文章を関連付けて問う設問や会話文形式の選択肢など、様々な出題形式への対応力が求められます。また、漢字・語句・文学史などの知識に関する設問が全体の約半数を占めるため、読解のためだけでなく、これらの設問に対応するためにも知識力を身につけることが大切です。

出題形式

正誤選定や複数文章、会話文の設問を通して、
多角的な文章理解が問われる！

解答形式はすべてマークシート方式。読解設問の出題形式は、内容把握や、理由説明についての正誤選定設問が大半を占めます。また、「本文以外の箇所から引用した文章」を参照し、空所に入る語を選択する複数文章設問（一般選抜）や、会話文が選択肢になった設問（公募推薦選抜、一般選抜）、日常の場面の具体例から文章に適したものを選ぶ設問（一般選抜）など、思考力が必要な設問が出題されるケースも目立ちます。過去問題の確認からこれらの設問形式に慣れることで、本番への対応力を養いましょう。



国語の攻略法

入試や大学入学共通テストの過去問題を活用し、
幅広い形式の設問に対応できる力を磨こう！

評論文は一般的な読解設問に加えて、複数文章設問や会話文形式の設問など、思考力が求められる設問が出題されます。入試過去問題や大学入学共通テストを活用し、幅広いテーマの文章や出題形式に慣れることで、本番に対応できる力を身につけましょう。また、全問の解答に必要な時間配分の感覚を養っておくことも大切です。

国語の基礎知識を固めて、
知識問題を得点源にしよう！

漢字・語句・文学史に関する設問が、全体の約半数を占めています。文学史は、近代以降からの出題が多く見られるため、範囲を絞った集中的な学習が効果的です。また、日頃から漢字や語句についての問題集などに取り組み、確実に得点できるよう知識を蓄えておきましょう。

理科 (物理・化学・生物)

※基礎理科は各科目の大問1・2と共通

出題分野

生物は現象からしくみまで広い理解が必要。
化学と物理は出題の中心を見極めよう！

2022年度の「生物」は、大問内で複数の分野の内容が出題されており、出題範囲についての正確な知識と判断力が必要です。用語だけでなく、現象やしくみに関しても幅広い理解が求められるため、教科書の内容を中心に学習を進めながら理解力を高めておきましょう。また、「化学」は半分以上が物質の構成・変化からの出題でした。元素の分類や酸化・還元の範囲を中心に、しっかり対策を進めることがポイントです。このように出題傾向が顕著になっているのは「物理」も同じ。力学からの出題が約半数を占め、電磁気、熱、波動がほぼ同じ割合で出題されています。力学分野を中心に、原子以外分野を万遍なくおさえておくことが大切です。

出題形式

主要な語句のインプットとともに、
速く正確な計算力を磨いておくこと！

3科目すべてが全問マークシート方式。「生物」の中心となるのは、文章や語句、図・グラフを選択する問題のため、教科書の重要語句をおさえながら、現象・しくみへの理解を深めましょう。考察問題もあるので時間配分への注意が必要です。「化学」は語句や文章を選択する問題が約70%を占めるため、広く正確な知識が必要。加えて計算問題も約15%あるので、水溶液の濃度計算や化学反応式の係数を用いた物質の質量計算など、定番の計算問題に関する演習を重ねておくことが大切です。「物理」は計算した結果の式や値を選択する問題が多く、途中式の計算間違いが選択ミスに直結します。速く正確な計算力を磨いておきましょう。

理科の攻略法

物理

力学に重点を置きつつ、
問題演習を繰り返そう！

出題の多い力学分野に重点を置きつつ、教科書の章末問題を自力で解けるよう演習を繰り返すこと。また計算問題は途中過程を残すことで、ミスを素早くリカバーできます。

化学

基礎的かつ主要な知識を
最優先にインプット！

様々な元素や物質の性質を問う問題が多いので、まずは基礎的な知識を正しくインプット！さらに教科書レベルの内容を正しく理解し、頻出の掲載問題にも慣れておきましょう。

生物

現象やしくみに加えて、
実験への理解も深めよう

現象やしくみに加え、考察問題のために実験の原理や手順も教科書などから理解しておくこと。問題演習もしっかり重ねて、知識があいまいな箇所を補強しておきましょう。

社会 (日本史・世界史)

出題分野

「日本史」は古代から近代の政治史が中心。
「世界史」は幅広い時代・地域から出題！

「日本史」の出題分野は政治史が40%を占め、文化史・外交史・社会経済史も幅広く問われます。出題は古代から近代まで時代のバランスが良く、法や政治史のように時代をまたがるテーマ史があるのも特徴。平安時代から室町時代の仏教についてなど、文化史中心の大問も見られました。また、「世界史」は幅広い時代を扱う問題が多い傾向にあり、地域としてはヨーロッパとアジアが半数ずつ。アフリカや南アメリカに関する設題も見られました。政治史が出題分野の中心ですが、文化史・国際関係史からの出題も少なくありません。各分野を偏りなく学習しながら、過去問題にも取り組むことで傾向をつかみましょう。

出題形式

両科目とも中心は組み合わせ問題。
知識を固めて選択ミスを防ごう！

「日本史」は様々な出題形式が見られ、全問が選択式。出題形式は空所補充、用語組み合わせが多く、合わせて50%を占めます。さらに年代整序、用語選択、文章選択(誤・正)が出題されるほか、地図中の位置を選ぶ出題や3つの文の正誤を組み合わせる出題も見られます。各問題に対する対応力を磨いておきましょう。一方、「世界史」で目立つのは組み合わせ問題。全問マークシート方式ですが選択肢に混同しやすい語句が並ぶため、正確な知識と理解が必要です。中でも文化史には、ゴシック様式の聖堂の名称とその位置を地図から選ぶといった出題があるので、複数の知識を総合して判断できる力を磨いておきましょう。

社会の攻略法

日本史

古代から近代の政治史をおさえよう！
重要なテーマはまとめて整理を

まず中心におさえるべきは、頻出する古代から近代にかけての政治史。重要な出来事と為政者の政策を軸に、しっかり知識を整理しておきたいところです。また、時代をまたがる通史への対策には、年表や図説の活用がオススメ。重要なテーマをまとめて整理しておきましょう。

世界史

時代をタテに、地域をヨコに考え、
世界の出来事の関係を理解しよう！

基礎的な問題が中心ですが、幅広い時代・地域の事項が問われます。王朝の変遷などの政治史を軸に、教科書から各地域のタテの流れをおさえておきましょう。基本的な流れを把握できたら、年表や地図を活用して同時代の他地域(ヨコ)の情勢にも目を向けましょう。



入試TOPICS



解答はすべてマークシート方式!

出題レベルは教科書の内容を中心に【基礎学力の問われる内容】となっています。今年度の問題出題傾向は昨年度を踏まえた形となるため、過去問題を中心とした対策が効果的です(論文総合は記述式)。

試験日 自由選択制

公募推薦選抜・一般選抜前期日程は、A・B・C日程の3日間から都合の良い試験日を選び、最大で3日間の受験が可能!さらに複数の日程に同時出願した場合には、**入学検定料の割引制度**もあります。詳細は募集要項をご確認ください。

入学申込金 **13万円!**

経済的な負担が軽く、他大学と併願もしやすい

一般選抜と同時出願すれば、 共通テスト利用選抜の検定料を **5方式分免除**

入試の成績による奨学金制度

(公募推薦選抜・一般選抜前期日程・大学入学共通テスト利用選抜前期日程の全受験生が対象)

入学時成績優秀者特別奨学金

年額 **43万円**

(授業料の半額相当)

4年間
給付

- ・対象となる入学試験における成績優秀者
(各学科の全方式合格者のうち上位10%程度を选考)

※毎年、成績状況の確認、3年次進級時に成績等の審査あり

遠隔地出身学生支援特別奨学金

年額 **24万円**

4年間
給付

- ・畿央大学から概ね100km以上の遠隔地にある高校出身の受験生
- ・対象となる入学試験における成績優秀者(各学科の全方式合格者のうち上位20%以内)

※毎年、住所等の確認、3年次進級時に成績等の審査あり

[注]保護者の住所移転などにより、受験当時とは異なる状況が生じた場合は、給付を取り消すことがあります。

2023年度入試日程

試験区分	試験日	試験会場	出願期間	合格発表日	第1次入学手続締切日	第2次入学手続締切日
公募推薦選抜	A日程	本学・京都 大阪・岡山	10/24(月)～11/4(金)	11/22(火)	12/15(木)	2023年 1/12(木)
	B日程					
	C日程	本学・大阪	10/24(月)～11/11(金)	11/26(土)		
一般選抜	前期A日程	2023年 1/21(土)	2023年 12/16(金)～1/13(金)	2023年 2/1(水)	2023年 2/20(月)	2023年 3/10(金)
	前期B日程	2023年 1/22(日)				
	前期C日程	2023年 1/24(火)				
	中期日程	2023年 2/19(日)	2023年 1/27(金)～2/11(土・祝)	2023年 2/25(土)	2023年 3/10(金)	2023年 3/23(木)
	後期日程	2023年 3/10(金)	2023年 2/14(火)～3/5(日)	2023年 3/16(木)	2023年 3/23(木)	
大学入学共通 テスト利用選抜	前期日程	本学 独自試験なし	2023年 12/16(金)～1/13(金)	2023年 2/9(木)	2023年 2/20(月)	2023年 3/10(金)
	中期日程		2023年 1/27(金)～2/11(土・祝)	2023年 2/25(土)	2023年 3/10(金)	2023年 3/23(木)
	後期日程		2023年 2/14(火)～3/5(日)	2023年 3/16(木)	2023年 3/23(木)	



◀ 詳細は「畿央大学入試総合サイト」へ!

<https://www.kio.ac.jp/admission/>

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2
TEL 0745-54-1603 Mail exam@kio.ac.jp